



住宅取得資金に関わる贈与

# 3,500万円まで非課税の特例 若年層のマイホーム実現を大きく後押し!

平成15年度より平成17年12月31日まで、「住宅取得資金に関する税制特例」が適用されます。

贈与税の住宅取得資金特例の主な変更点は、次の2点です。

- ① 非課税枠が550万円→3,500万円に拡大
- ② 親が65歳以上→親の年齢要件なし

この制度について、消費者の認知度および活用状況などを把握するために、全国の住宅展示場においてアンケート調査<sup>注</sup>が実施されました。

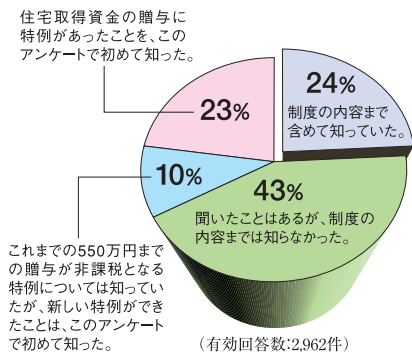
住宅展示場来場者の平均年齢は38.9歳。40歳未満(贈与の対象年齢に相当)が6割以上を占めています。

調査の結果、住宅資金の一部に贈与を予定している人は約1/3いるにもかかわらず、今回の特例の内容を知っている人は、わずか1/4に過ぎないことが分かりました。

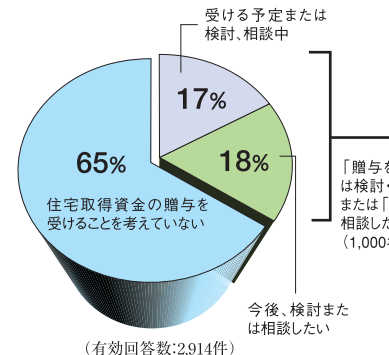
その一方で、今回の特例の内容を知っている人(715人)の約半数(305人)は、特例が住宅購入に踏み切る大きな要因となっており、贈与を受ける予定額も平均1,100万円で、従来の550万円を上回っています。この制度のメリットをより多くの人に知っていただくことで、若年層の住宅取得に一段と弾みがつきます。

貴社においても、お客様と資金計画を相談される際には、贈与税特例についてもきちんと説明して、効果的なご活用をおすすめしましょう。

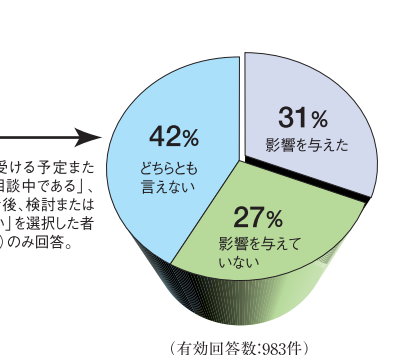
**Q1** 住宅取得資金の贈与に関し、3,500万円まで贈与税が非課税となる特例ができたことをご存知でしたか?



**Q2** 住宅を取得するにあたって、両親、祖父母から住宅取得資金の贈与を受ける予定がありますか?



**Q3** 新しい住宅取得資金の贈与の特例は、住宅購入の意志決定に影響を与えましたか?



注：住宅取得資金に関する税制特例についてのアンケート調査結果より(国土交通省／(財)住宅生産振興財団 H15年7月実施)  
(全国23都道府県65ヶ所の住宅展示場への来場者から無作為抽出。)

## くうきのはなし

### 沸き立つ水と完全な静寂…のぞいてみよう真空の世界

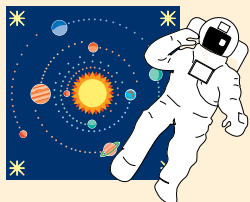
生まれて今日まで、私たちは空気の中で暮らしてきました。それだけに空気のない状態というのは、なかなか想像できません。今回は、真空下で起きる意外な事実を調べてみました。

#### ① 水が常温で沸騰する

気圧がゼロだと、水は常温で沸騰してしまいます。フリーズドライコーヒーがおいしいのは、加熱せずに粉末化する真空乾燥のおかげです。

#### ② 音が聞こえない

音は空気の振動ですから、真空中では伝わりません。



#### ③ ほこりが舞わない

微細なホコリも、真空中ではストンと落ちてしまい、フワフワと漂うことはありません。

#### ④ ものが燃えない

酸素のない真空中で温度を上げると、紙や木などの有機物は炎を上げずに炭化。金属は周囲に分子を放出し始めます。お菓子の袋などのアルミ蒸着フィルムは、この性質を利用して作られています。